

みんなの広場における講話要旨

日 時 令和4年11月10日(木)

8時00分～8時10分

場 所 浜中町立茶内小学校体育館

みなさん、おはようございます。

最近、朝晩の冷え込みが、一段と厳しくなりましたね。

今年の冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方が流行するなどと言われてます。

改めて、感染防止に取り組むとともに、児童会が企画してくれた「規則正しい生活習慣を身に付ける取組」などを通して、健康に気を付けて、元気に学校生活を送ってください。

さて、今日は学校生活におけるみなさんの仕事について、お話しします。

みなさんには、毎日いろいろな仕事がありますね。

学級では、日直の仕事や係の仕事、給食当番や掃除当番があります。

高学年になると、委員会活動がありますし、いろいろな行事で特別に仕事をすることも増えてくると思います。

ところで、みなさんは自分の仕事を忘れないで、ちゃんとやることができていますか。

ときどき、忘れてしまうことはありませんか。

仕事を忘れてしまうと、友達に迷惑をかけることになりますね。

自分の仕事は、忘れずにやりたいですね。

それから、仕事は忘れずにやっているけど、何だか面倒くさくなって、真剣にやらなかったり、適当にやったりしてしまうことはありませんか。

仕事というのは、誰かがやらなければなりません。

つまり、仕事は必ず誰かの役に立っているということです。

せっかく仕事をするのですから、「自分のする仕事が誰かの役に立っているんだ」、「この仕事をするとなんか喜ぶんだ」と考えて仕事をしてはどうでしょうか。

そのような気持ちで仕事をする、仕事に対する取り組み方も変わってくると思います。

こんなお話を聞いたことがあります。

ある方が、高級ホテルのレストランで働いていました。

あるとき、テーブルにたくさんのお皿を並べる仕事をしていたら、レストランの支配人の方から、何を考えながら仕事をしているのか尋ねられたそうです。

その方は、特に何も考えていなかったの、そう答えたそうです。

すると、それでは時間を無駄にしているから、そのお皿で楽しそうに夕食をとる人たち一人一人のことを考えながら置いていくようアドバイスして下さったそうで

す。

その方は、お皿を並べるのは、つまらない仕事だと思っていたのですが、このアドバイスで、どんな仕事でも、周りの人の幸せを願いながらやれば、価値のある仕事になるということに気付いたそうです。

どんな仕事であっても、その仕事はどこかで必ず周りの人につながっています。

そのつながっている人の幸せのためだと思いながらやれば、どんな仕事にも大きな価値があるのだと思います。

みなさんも毎日たくさんの仕事をしています。

日直や給食当番、掃除当番、係の仕事や委員会の仕事などです。

日直の仕事も給食当番の仕事も、「誰かのためになっている」と考えながら、そのだれかのためを思って仕事をすると、それはみなさんにとって、より価値のあるものになるのではないのでしょうか。

これから先、仕事をするのをつい忘れてしまったときや、仕事をするのが面倒くさいなと思ってしまったときに、是非この話を思い出してくださいね。